HOT NEWS

鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修

言葉を交わし、心に触れ、分かり合う

町内の中学生を対象に、海外での生活を通じて、語学や異文化を学ぶことを目的に行われている「鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修」。今年は広見中学校3年岡本瑞樹さん、楠本天音さん、近藤壮一郎さん、高田津友実さん、中田葵さん、日吉中学校3年二宮咲さん、山本貴也さんの7人が参加しました。

参加者は8月18日から27日までの10日間、オーストラリアのケアンズに滞在。現地の人たちとの交流、異文化への理解やコミュニケーション能力の向上など、この研修での経験全てが、自身が成長する糧となったようでした。

1_オーストラリアの広大な自然の前で記念撮影　2_お世話になったホストファミリーとともに　3_一緒に勉強に励んだクラスメイトたち　4_現地の子どもたちと。5_食事の違いも文化を知るきっかけの一つ

（後列左から）山本貴也さん、近藤壮一郎さん、中田葵さん（前列左から）岡本瑞樹さん、楠本天音さん、二宮咲さん、高田津友実さん

不安の始まり　楽しさへと変わる

広見中学校　岡本　瑞樹

今回の研修で、私は初めて海外へ行きました。目の前に広がっている風景、食文化、言語、何もかもが日本と違っていて、1週間過ごしていけるのかな、と最初は不安でいっぱいでした。

でも日を重ねていくにつれ、自分から積極的に話しかけられるようになって、一日一日がとても楽しく過ごせました。

今回のオーストラリア研修は、私にとって新鮮で、いろいろな意味で成長できたと思います。研修を支えてくださった全ての方々へ感謝の気持ちを忘れず、今回学んだことを生かしていきたいです。

言葉の壁乗り越え　積極的に交流を

広見中学校　楠本　天音

私は今回の研修でオーストラリアの様々な文化に触れることができました。英語で話すことは難しく、緊張しましたが、自分から積極的に話しかけることができました。

また、日本では見られない景色や動物を見ることができました。

この研修で、多くのことを学ぶことができました。この研修にかかわってくださった方々に感謝し、これからの生活に生かしていきたいです。